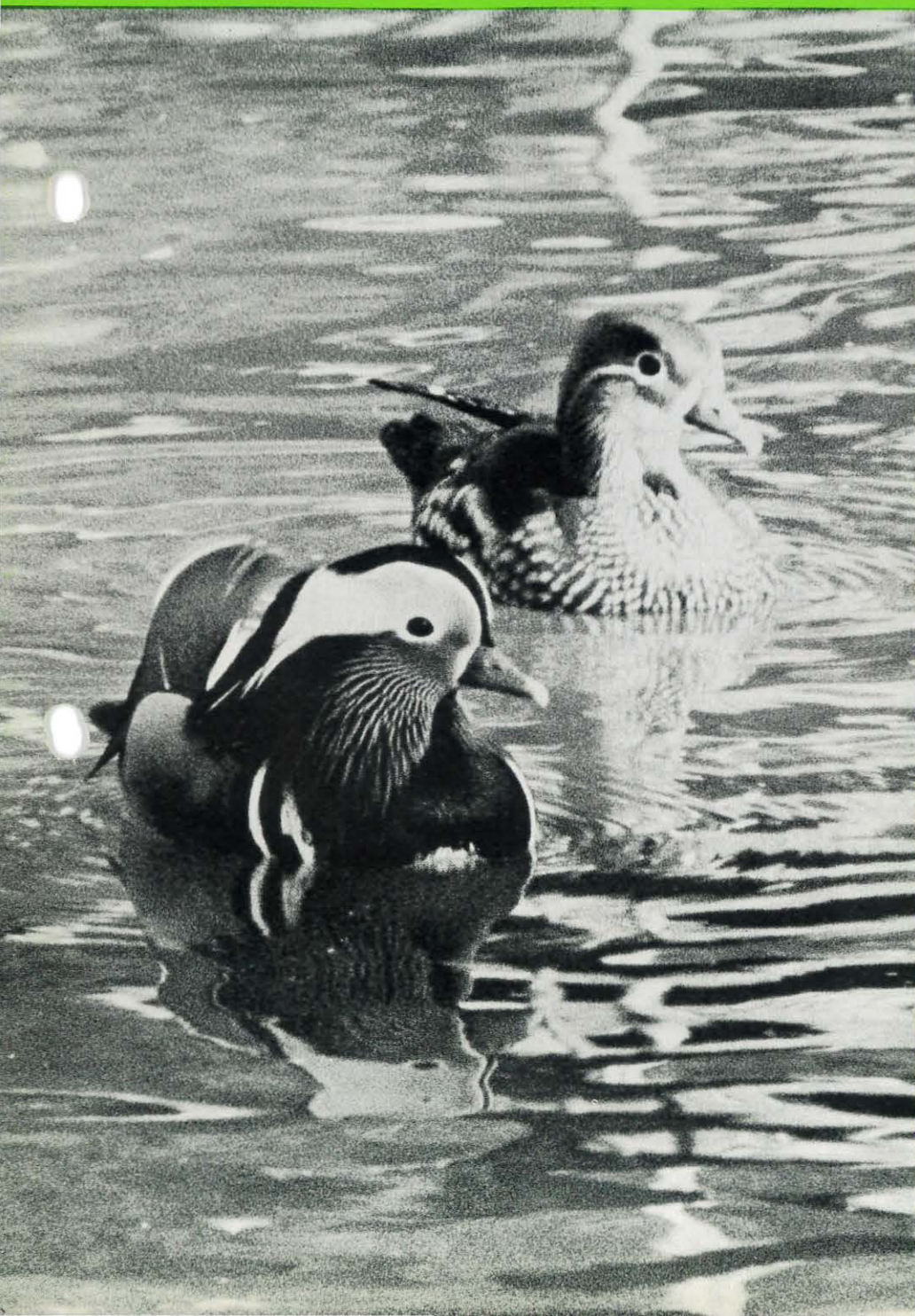


なきごえ



1977

2

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

雉水鳥協会 内藤弘昭

はじめに、昭和31年春、車で城崎から豊岡へ向けて円山川沿いを走ったおり、6羽が確認された「コウノトリ」は、飼育ケージに1羽が残っているだけ、昭和40年頃までは、京都市南部の一部で棲息の伝えられた、巣造りの鳥として有名なトゲウオの1種「ミナミトミヨ」は、その名すら一般には知られることもなく、まぼろしの鳥になってしまったようです。身近な所でさえこの有様ですから、日本中、世界中へと目を拡げると、更に幾多のものが、この危機にさらされていることでしょう。大規模な開発や干拓による自然破壊は、そこに生活する動植物の生態系

の基盤をゆるがし、適応性の弱いものほど、その影響をもろにこうむって、種族の維持に困難をきたし、減少の一途をたどる命運にあるようです。最近になってやっと自然保護の重要性が認識されるようになり、国自体の動植物の保護対策が見直され、諸外国とも渡り鳥保護条約が取交されるようになって、ようやく曙光の兆が見え始めたところです。

ところが、保護対策が確立されると、輸出入や、飼育等に対して、いろんな規制措置がとられるようになり、これまで自由に入手することができた鳥獣も、入手が不可能な状態になってきました。特に稀種鳥獣の入手に対しては、学術的な研究や特殊な事態を除き、全面的に禁止となり、完全な締め出しが計られたわけです。

このような事態を推測して、昭和43年に、日本雉

なきごえ2月号目次

動物と私	2・3
動物園グラフ	4・5
カリフォルニアの動物園を訪ねて	6・7・8
混血ペンギン 誕生	9
獣医室 ⑮	10
動物園ニュース	11

水鳥協会が設立され、これら鳥獣のうち、雉・雁鴨類を主体とした、飼育・繁殖等の諸問題と取組み、この研究を通じて斯界に貢献する目的で、活動しております。

前置が長くなりましたが、山一つ越せば丹波という、播州の山奥の田舎町で生れ育った関係もあって、幼少の頃から自然の恩恵を十二分に味わうことができたのが、成行きのまま、動植物の飼養に携わる道に足をふみ入れる結果となったようです。この道に迷い込んでからいつしか4半世紀が過ぎてしまいましたが、鳥飼は毎年歩からの繰り返りで、失敗の積重ねを続ける始末です。現在、雉・水鳥を中心に、50種 150羽余りを飼養しておりますが、これは無差



別に集めたため、環境や飼育技術と勘案して淘汰整理の必要があり、少数精鋭主義に改めねばと考へています。幸いに雉の方で「ヒオドシ授鶏」の鴨の「オシドル」が、飼育環境に適応したのか良好な成績を得たので、前者についてのべてみます。

授鶏の仲間には、世界の屋根ヒマラヤ山麓のネパール、シッキム、ブータン、ガルファル、アッサム、チベット等の標高2400m～4250m(冬期は1800mまで降下)檜、クスギ等のブナ科樹林帯からヒマラヤ杉～石楠花樹林帯の丘陵の側面や藪の密生す地域に棲息し、5基種1亜種の6種が知られています。(メラノセファラス、サティル、ブレイス、ブ・モレスウォース、テミンク、カボティ)

「ヒオドシ授鶏」Satyr Tragopan は、クリムソンホンド又はメラアグレスの名で、1785年にその存在

表紙の写真説明

“オシドリ”
仲のよい夫婦に例えられるオシドリは日本各地で繁殖するカモの一種です。あざやかな羽色のオスに対し、メスは地味な羽色です。
(撮影：宮下 実)

が知られておりC70°30'Eを中心とした、ガンジス川上流域の前記地方に棲息しています。採餌は主として朝と夕方に、球根・種子・木の芽などのほか、昆虫から小形のは虫類に及ぶ雑食性で、冬期には、ヘラシダやポジウム属の羊歯だけを食していたことが記録されています。5・6月頃、石楠花樹林の樹上に小さい檜の小枝を集めて営巣し、茶褐色斑の卵を2～4卵産卵しますが雉の卵に酷似しているということです。

翼長	♂ 260～277mm(アベレージ 268.5mm)	♀ 216～245mm(♀ 229.5mm)
嘴峰	♂ 14～16mm	♀ 11～
跗蹠	♂ 85～95mm	♀ 66
尾尾	♂ 250～345mm	♀ 195mm
重量	♂ 1.6kg～2.1kg	♀ 1～1.2kg
卵	65×42mm～60.6×42.9mm	

現在手許に飼養のものは、昭和48年6月と昭和49年4月、共に生後半年位の若鳥を入手して育て上げたものです。50年3月産卵直前の雌を事故で落したので組替をし、48♂49♀としました。50. 4. 20初卵、23日27日と3・4日毎の産卵でとまったので、5月5日チャボに3卵を抱かせました。卵が大きいのでチャボではちょっと無理かと思いましたがそのままにしました。6日目に検卵、卵殻が茶褐色のため判別困難ですが、3卵共有精で孵化日を楽しみに待ちました。仲田氏の記事には28日となっていたが孵化しません。失敗かと思いましたが、耳を当てると動く音がします。そのまま放っておいたところ、31日で無事3羽共孵りました。驚いたことに、生毛が乾くと、大分成長した翼が見えるではありませんか。雉の孵化後3週間位経過した位の大きさです。これは自然界における生存競争の対応策として永年の間に培われた天性なのでしょう。

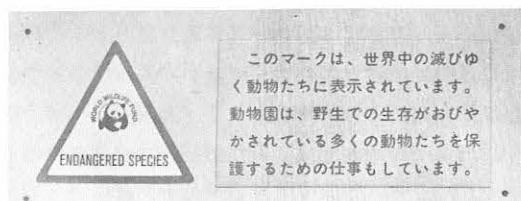
5月21日に4卵目を生み落して初年度は産卵終了です。6月1日に託卵、この時も31日で孵化です。双方とも100日余り仮母につけたままでしたが、仮母より大きくなって、頭を仮母の翼下に突込んで

寝る姿は可愛いものです。このことは、唯一の皮膚の裸出部である顔面を蚊の害から守ることができるので助かります。雄は生後5ヶ月目位から段々と赤い色が出はじめ15ヶ月位で完全な色に仕上がります。頭部は黒、肩から胸・腰にかけて紅色のベースに白の斑点が入り、尾は褐色から黒色を呈します。雌は茶褐色の地色に白の鹿ノ子ぼかしが入っています。繁殖期に雄は青色の角羽を立て、肉垂を出すのですが、角羽の方はまだ見ておりません。雌は産卵前、産座をつくらせて卵を生みますので、産座のつくろいが見られたら必ず産卵しております。産卵の時間は、朝昼夕方いつでも産みますが夕方が多いようです。50年は雄雌共に2羽宛育ち100%の成功を見ました。51年は4月7日初卵で4・4・1の3クラッチ9卵を得、無精1中止2で6卵が孵化しましたが、昨年の成功で油断したのか事故で3羽を落し、3羽が育ったことになりました。(孵化段階で仮母にふみ殺されたのが1羽、育雛段階で仮母に頭を割られて1羽、人工飼育のもの場所の移動による環境の変化で1羽)

飼育ケージは、間口6m奥行2m高さ2m露天で径30cmの檜の古木1本が日覆を作り、灌木4～5本が緩衝帯として植えてあります。巣箱は高さ1.5mの処にトロボ箱を1ヶ置き、中へカルカヤ・ススキなどの草を厚目に敷込んでやります。飼料は、親はプロイラーベレット3、マッシュ3、小米1、2種混3のベースに、サフラワー、オノミ、魚粉、緑餌等を適宜加えて与えています。更に地面に大量の腐葉を敷込んでやると好いようです。雛は、雛用マッシュに、リブロンE、ガーリック末、魚粉に緑餌を加えています。その他の添加剤として、オーロファック、アクトネート、ハイグロミックス、エッグエード等を用途別に使用しておりますが、量を誤ると害となりますので慎重な取扱いが必要です。これまでにいろんな雉を飼ってきましたが、これほど丈夫で飼育しやすいものは見当たりません。産卵数も少なく、種禽の確保が困難な現状では、普及に時間がかかるものと思いますが、是非おすすめしたいものの一つです。

動物園グラフ

“国際保護動物”特集 No.1 哺乳類



国際保護動物にはこのようなバンドマークが表示されています。

国際保護動物とは、世界各地で絶滅の危機にひんしている動物や保護しなくては絶滅の恐れのある動物を、国際保護動物として指定し保護しているもので、今回は当園で飼育中の国際保護動物の一部をご紹介します。

(撮影：宮下 実)



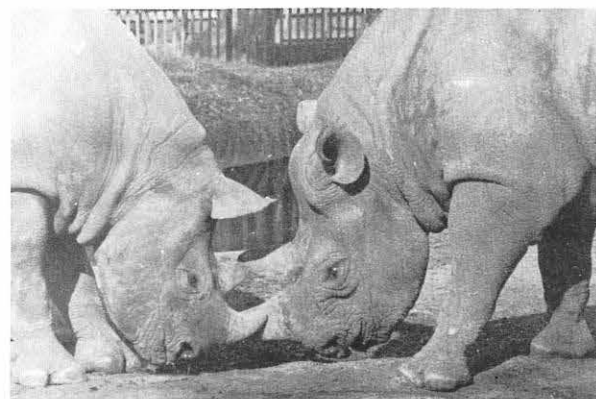
オランウータン



マレーバク



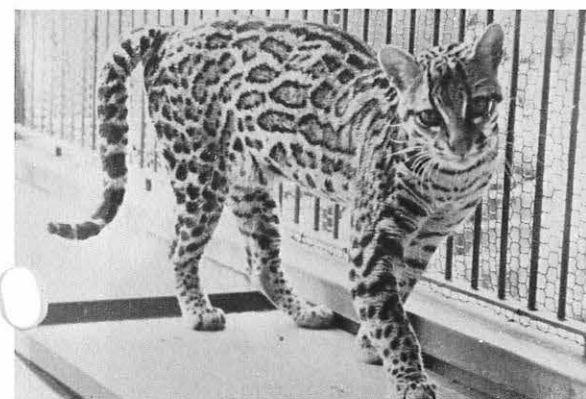
オオアリクイ



クロサイ



ゴリラ



オセロット



シシオザル

12・1月の動物園日記

- 12/15. コサギ1羽が保護されてきました。マレーバクが寒さのため便秘気味です。
- 16. エランドの仔の下痢はなかなか治らず、治療を続けています。コクチョウが3羽入園しました。
- 17. コビトコブウシのメスが寒さのため、下痢をしてしまいました。
- 18. ゾウのユリ子が便秘で薬を飲ませています。

- 19. エランドの仔もコビトコブウシの下痢も寒さのため、なかなか治りません。
- 20. ゾウのユリ子の便秘はつきっきりの看病でようやく治りました。メンヨウの仔が1頭生まれました。
- 21. 10月9日に孵化したサケビドリヒナのヒナが大腸炎を起し、残念乍ら死亡しました。
- 22. オランウータンのサツキが下痢で発熱しているので係員がつきっきりで治療しています。
- 23. エランド、コビトコブウシの下痢がようやく

- く治りました。
- 24. オランウータンのサツキがつきっきりの看病のおかげか、元気になりました。
- 25. コアホウドリが保護されて来ました。
- 26. フンボルトペンギンがビッコをひきはじめていたので治療しています。
- 27. この日はすごい寒さで、フラミンゴ池や日本庭園の池に厚い氷が張り、係員は氷割りに大わらわです。
- 29. 寒さのため衰弱し、研究室に収容されたカニクイザルが元気を取り戻しました。

- 30. クロヅルが右翼の骨を折ってしまったので手当てをしてやりました。
- 1/1. カニクイマングースが左の頬を脹らせているので治療しています。
- 2. イワトビペンギンが肺炎の為死亡しました。
- 3. フンボルトペンギンが治療の結果、ビッコをひいていたのが治りました。ホッキョクグマが右前足を痛めたらしくビッコをひいているので治療ははじめました。
- 5. ホッキョクグマのビッコが治り、元気に走り廻っています。



“混血ペンギン 誕生”

昨年11月～12月に3組のケーペンギンとフンボルトペンギンの異種間夫婦から、4羽の混血ペンギンが誕生しました。ペンギンの雑種は世界でも珍しく、2羽は惜しくも死亡しましたが、残る2羽は元気に育ち、今では両親と同じ位の大きさになりました。

(撮影：宮下 実)

カリフォルニアの動物園を訪ねて

② スタインハルト水族館、ロサンジェルス動物園 長瀬 健二郎

§ カリフォルニア科学アカデミー

サンフランシスコ動物園を訪ねた翌日、スタインハルト水族館に行きました。



マークのイルカの像。水族館の入り口。左はシムボル

この水族館ははじめから始まって数時間はかかるというゴールデンゲートパークの中にあります。バスを降りるととても立派な入り口がありました。そこには「カリフォルニア科学アカデミー」と書かれてあります。まちがえたのかな、と思って門の人に聞いてみると、どうやら僕が感嘆しているのが判りました。このカリフォルニア科学アカデミーというのはひとつの大きな博物館だったのです。スタインハルト水族館はその一部門ということでした。

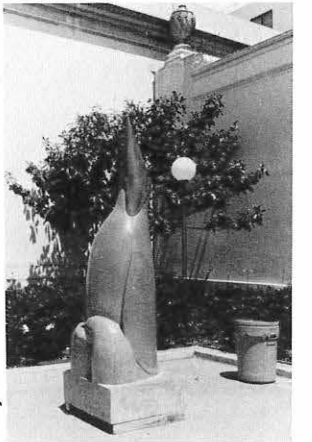


感じます。ワニの池。ちよつと不気味な

入り口を入ると大きなホールで、この中に1億4千万年前の世界を我がもの顔でしあっていた恐龍アロサウルスの骨格模型がありました。高さ4mはある見上げる程の大きなアロサウルスが頭の上から襲いかかってくる感じです。入ったところでこんなのにぶつかり、ちよつとドキリとしました。このホールをつきるとスタインハルト水族館のシンボルである2匹のイルカの噴水がある広場に出ます。科学アカデミーの各部門はこの広場を囲むようにしてつながっています。全部で13部門あります。水族館、アフリカの哺乳類、化石、天文学、プラネタリウム、植物学、宇宙科学などです。しかし、1923年にイグナツ・スタインハルトによって開かれたという水族館が最も大きな面積を占めていました。

§ スタインハルト水族館

ギリシア建築風の入り口を入ると前は広いプールです。中をのぞいてみると、いるわいるわ、無数のワニとカメがうごめいています。プールは3つに分けられていて、それぞれにウジャウジャとワニとカメが群がっています。中の島にはカメが、親ガメの背中に子ガメ……



広場にあったキングペンギン親仔のモニュメント。

どころではなくて4重5重位に重なりあっています。下の方の1匹が動くと上の5、6匹がくずれてプールの中へボチャボチャと落ち、また島の上ってはプールに落ちる、の繰り返しです。何となくユーモラスで、どことなく気味の悪い展示でした。

このプールを囲んで2重に通路があり、内側の通路には様々な爬虫類や両生類。外側の通路の両側には、海水性や淡水性の魚類とイルカ、マナティー、アザラシなど水生の哺乳類が展示されています。

人魚のように優雅に泳ぐイルカをガラス越しに横目で見て通りすぎ、僕はアマゾン・マナティーの水槽に直行しました。マナティーというのはよく人魚

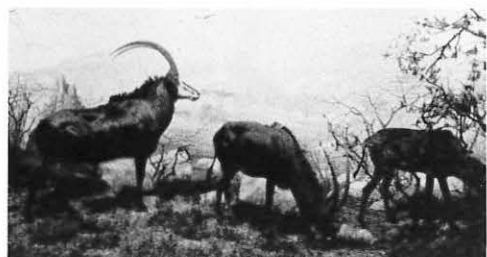


マウンテンニヤラ山岳地帯に住む

とまちがえられたといわれるジュゴンの仲間です。とても生息数の減った動物です。日本でも、2頭が飼われているだけで亡びつつある動物のひとつです。体つきはだらしく太ったイルカ、顔つきはキバを抜いたセイウチといったこの動物は何の武器ももたず、アマゾンのような大河でのんびり、ゆったりと暮しているそうです。僕は前からこの仙人のような動物が大好きでした。ここでは1頭だけでしたが、大好物のレタスを水の中で浮かさぬように、上手に両前足でつかんで、ムシャリ、ムシャリと食べる姿はとても印象的でした。

§ 実に見事な剥製群

多くの魚類と毒ヘビを含むたくさんのヘビ達。それにカメやワニを見てから他の部門ものぞいてみました。どの部門も実に立派な展示でしたが、その中でも特に、アフリカ・ホールは出色でした。



セーブルアンテロープの群。

アフリカの哺乳類、特にレイヨウ類が剥製で展示されているのですが、その見事さにはただただア然とし、生唾をゴクリと飲み込んだ程です。眼が生きているのです。筋肉が躍動し、血液が音をたてて流れているのです。ここで誰かがもの音をたてたら、この剥製達は一瞬のうちに背景の中へドドーと群をなして逃げ込んでいってしまうという感じです。剥製だけではなくその背景も見事で、本物そっくりの土や草や木や石が置かれていました。動物と一緒にその動物が住んでいる土地ごとそっくりアフリカ



シタツンガ。水を飲みに出て来た

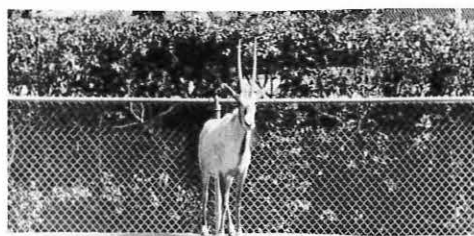
からアメリカまで運んできたみたいです。この写真を見た同僚が言いました。「なんや、アメリカの動物園に行く言うてたのにアフリカの自然公園に行ってきたん」

ハンターズ・ハーテビースト、オジロヌー、シタツンガ、マウンテンニヤラ、といった日本では図鑑でもめったに見られない動物達の剥製をあとにしてその夜、ロスアンジェルスへと向いました。

§ 大きな動物園とアラビアオリックス

ロスアンジェルス動物園には、昨年4月、天王寺に来られた広報担当のミセス・デニス・マキノという方がいます。日本を出る前に連絡しておいたのですが、急用とかでお休みでした。でも園の人にとってもよく伝えて下さっているようでした。

翌朝、人が来ていると言うので、ロビーに行くと



アラビアオリックス。とても貴重な

おまわりさんが立っていました。アメリカまで来てつかまるようなことはしていないのに…と思って聞いてみると、この人はロスアンジェルス動物園の保安係の人でした。服装があまり立派なのでまちがえてしまったのです。VIP待遇だそうで、わざわざ車で迎えに来てくれたのだそうです。本当に恐縮しました。

聞いてみると保安係だけで16人居て、1日3交代、24時間園を警備しているのだそうです。ちょっと驚きました。この動物園は1780万㎡もあるグリフィスパークの中にあり、広さは約34万㎡(天王寺の3倍強)、哺乳類139種、582点。鳥類403種、1316点。爬虫類213種、467点。計755種、2365点の大コレクションを有する大動物園です。園のスタッフは約



バーンズさんと。トラムに乗って一休み。

200名。飼育係が約80名で獣医さんは1人。その助手が3人居るそうです。ちょっとうらやましかったです。

園の通用門から事務所への道で、夢にまで見たアラビアオリックスを見つけました。これはアラビア産のレイヨウです。

原地のアラビアでは乱獲のため、一時11頭にまで減り、絶滅すると言われたのですが、アリゾナのフェニックス動物園で引き取り、慎重に飼育したところ、よく繁殖し、絶滅の危機からのがれたという、



ゴリラの赤ん坊もいました。人工哺育で育てられている生後

アメリカバイソンやハワイガンと同じようなエピソードを持つ動物です。ここでは闘争防止のため5ヶ所に分散させ、よく繁殖して今では17頭にも増えていました。

§ うらやましい病院とすごいコレクション

事務所について園長以下様々な人に紹介され、頭の中では顔と名がこんがらがってしまったのですが、これから僕達を案内してくれるのがセニア・キーパーのロバート・バーンズさんだということだけはなんとか判りました。



水筒に水をつめて飲んでいる所です。ライオン型水飲み台。この人は

バーンズさんはまず動物病院(これをアニマルズホスピタルと呼ぶが、ヘルス・センターと呼ぶのだそうで少し妙な感じがしました。)に連れて行ってくれて、獣医のエスラ先生に紹介してくれました。エスラさんは人なつこい眼とものすごいアゴビゲが印象的な好人物で、工業高校を出てエンジニアになり、兵役を終えて銀行に勤め、そして8年かかる獣医大学を出てここに来たそうです。だから動物園に入ったのは僕と同じ3年前なのに年は10才も上でした。とても親切な人で、「この器具持ってない?それじゃこのカタログで注文しなさい」と言ってカタログをくれ、「この薬品知らない?それじゃこれが薬品会社の住所」「この学会知らない?それじゃこれが入会書」と次々に貴重なお土産をくれました。うらやましいばかりの設備の中で、3人の助手と協力して、自信満々に仕事を進めるエスラさんを見ると僕もこのぐらになれればなあとつくづく思いました。

エスラさんと別れ、いよいよ園内見学です。天王



カリフォルニアコンドル。宝物、

寺の3倍以上あるこの動物園は歩いて見てまわるには時間がかかりすぎます。それにこの日は記録的な暑さの日で気温は実に38℃もありました。そこでバーンズさんはトラムと呼ぶ電気自動車に乗せてくれました。これでラクチン。

バーンズさんが「好东西を見せてあげよう」と言わずに連れて行ってくれたのはカリフォルニアコンドルの所です。飼育下では世界中でこの1羽だけという宝物、パチパチパチパチとシャッターを切りました。これから帰るまでの5時間程、僕はシャッターを切ることに、感嘆のタメ息をつくことに、メモを取ることに必死でした。ロスアンジェルス動物園は生きた動物図鑑そのものだったからです。



珍獣アタクスの群れ。

保安係の中国系アメリカ人、チャンさんにホテルまで送ってもらってやっと一息いられました。一息つくとも38℃という暑さにやられた頭の中で、ロスアンジェルス動物園のことがぐるぐる廻りはじめました。素晴らしい動物達。ハービーイーグル、シマダイカー、エリマキキツネザル、ヤブイヌ、オナガー、ワライカワセミなどなど。それにとても立派な教育施設に飼育設備。ロスアンジェルスは夜はなかなか眠つけない夜でした。



とても涼しかった動物舎。スプリングラーが廻って

(つづく)

(飼育課: 獣医師)

獣医室から 15

フサオマキザルの人工哺育記録

フサオマキザルは中南米に分布するサルで、非常に知能程度の高いことで有名です。昨年6月、このフサオマキザルを人工哺育する機会がありましたので、その哺育記録の一部をご紹介します。

◎両親は昭和46年5月、ブラジルのサンパウロ市より寄贈を受けたものです。

◎昭和51年6月14日朝、生まれたての赤ちゃんが檻に必死でしがみついているのを発見しました。母親は抱こうともせず、時々側に寄って匂いをかぐ程度で、全くわが子のめんどうをみようともしませんでした。赤ん坊は地上1.5mの高さで檻にしがみついております。そのうち力がつきて墜落する恐れもあるため、母親を寝室に移すと共に赤ん坊も寝室の床に置き、観察することにしました。しかし母親は依然、子を抱こうとしないため、1時間後、人工哺育することにして保育器に移しました。

◎誕生時のデータ

体重155g、体長16.2cm、尾長17.4cm、性別オス。愛称はプチと名付けられました。眼はすでに開いていましたが視力はまだありませんでした。昭和49年に上野動物園でもフサオマキザルの人工哺育をしていますが、その時の体重が270gあったそうで、それに比べるとかなり未熟児といえそうです。使用したミルクは人間乳児用の粉ミルクで、小型犬用の乳首、哺乳ピンを用いました。保育器の温度は最初、昼夜28～34℃に保ち、徐々に温度をさげ1ヶ月後より室温としました。

◎プチの成育経過

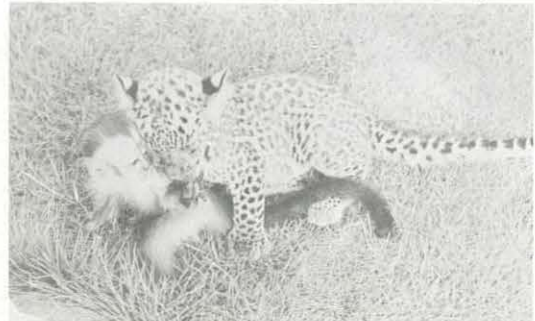
最初の日には全くミルクを吸わず、口の中に少量ずつ流しこんだ程度でしたが、2日目からは乳首にもしっかり吸いつき、また鳴声も出すようになりました。哺乳量、体重の変化は別表の通りで、最初は1日6回哺乳させ、以後成長するにつれて哺乳回数もへらしました。4日目に臍帯の脱落、5日目に下の



門歯4本、9日目に上の門歯4本がはえ、30日目頃にやっと視力もでてきたようです。排便、排尿は共に自力ですするため、特に補助する必要はありません

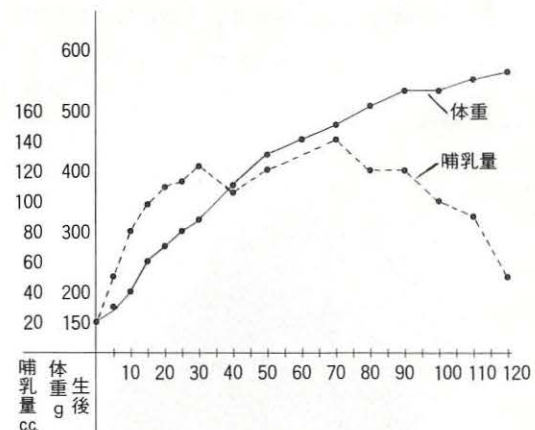
でした。42日目より離乳を開始し、最初はバナナ、リンゴのすりおろしなどを少しずつ与え始め、120日目からは哺乳は1日1回、あとは全て普通食に、180日目からは哺乳は全てやめ、普通食だけにしました。普通食：リンゴ、バナナ、パン、ムシイモ、サツマイモ、ニンジン、キャベツ、ゆで卵

◎生後3日目に咳が続き薬を与えましたが、それ以外病気がしつ病気がせず順調に育ちました。夏には閉園後、やはり人工哺育中のヒョウと一緒に散歩させたりして遊んでやりましたが、最近戸外が寒い



め、研究室内の檻にとじこめたままで、遊び相手にもなってやらないためか少々ごきげんななめです。上野動物園の例ではフサオマキザルの群れにもどすことに成功しており、このプチも将来両親のもとへ戻してやる方がプチ自身の幸せかもしれません。

◎知能程度の高いサルだけに、一度その能力測定を試みたいと思っているのですが、まだその機会がありません。しかし自分の檻のカギのあけ方を簡単に覚え、こちらが油断していると、いつのまにかカギをあけて出てくる始末で、最近では二重ロックをしている位です。(飼育課：宮下 実)



動物園ニュース

☆ダッカ動物園との動物交換

昨年から計画されていたバングラディッシュの国立ダッカ動物園との動物交換がやっと実現することになり、1月27日、当園からタヌキとアナグマ各1つがいを送りました。ダッカ動物園からはおり返しジャングルキョット1つがいが送られて来る予定です。



夢が広がるショッピング…… 近鉄がお届けします



(右側が新着のメス)

☆身障者用トイレ完成

身体障害者の方が車イスのまま楽に使用できるトイレがこのほど完成しました。昨年11月から中央門横で工事をしていましたので、六角形をしたクリーム色の建物です。

*哺乳類 118種 476点 *鳥類 194種 700点
*は虫類 40種 92点 合計 352種1268点

▷休園日のお知らせ

毎月第3月曜日は休園日です。5月までの休園日は下記の通りです。
2月21日、3月22日、4月18日、5月16日。
開園時間は9時半から4時半までで、4時に切符売止めになります。

獣医室から ⑮

フサオマキザルの人工哺育記録

フサオマキザルは中南米に分布するサルで、非常に知能程度の高いことで有名です。昨年6月、このフサオマキザルを人工哺育する機会がありましたので、その哺育記録の一部をご紹介します。

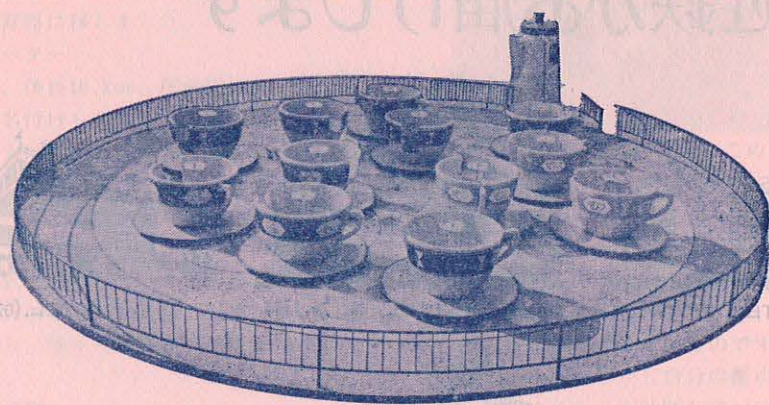
◎両親は昭和46年5月、ブラジルのサンパウロ市より寄贈を受けたものです。

◎昭和51年6月14日朝 生まれたての赤ちゃんが概

でした。42日目より離乳を開始し、最初はバナナ、リンゴのすりおろしなどを少しずつ与え始め、120日目からは哺乳は1日1回、あとは全て普通食に、180日目からは哺乳は全てやめ、普通食だけにしました。普通食：リンゴ、バナナ、パン、ムシイモ、サツマイモ、ニンジン、キャベツ、ゆで卵

◎生後3日目に咳が続き薬を与えましたが、それ以外病気がしい病気がせず順調に育ちました。夏には

遊園施設委託経営・製作・販売

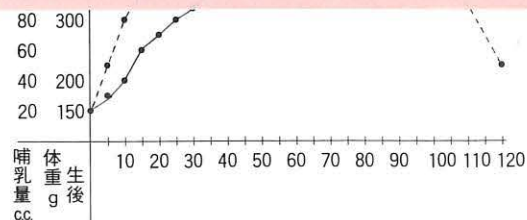


久竹娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区南堀江通3-40
電話 大阪(06)541-3112・3938 番



門歯4本、9日目に上の門歯4本がはえ、30日目頃にやっと視力もでてきたようです。排便、排尿は共に自力ですするため、特に補助する必要はありません



動物園ニュース

☆ダッカ動物園との動物交換

昨年から計画されていたバングラディシユの国立ダッカ動物園との動物交換がやっと実現することになり、1月27日、当園からタヌキとアナグマ各1つがいを送りました。ダッカ動物園からはお返しジャングルキャット1つがいが送られて来る予定です。



(朝日新聞社提供)

ジャングルキャットは東南アジアから中近東に分布する珍しいヤマネコ的一种です。

☆安佐動物公園からキョンの花嫁来園

1月13日、小型のシカの一種のキョンの寄贈がありました。これは当園には1頭のオスのキョンしかいないため、あちこちで花嫁をさがしていたのですが、このたび広島市安佐動物公園のご厚意により、メスを1頭プレゼントしてもらったものです。さっそく放飼場でお見合いさせた後、同居させました。



(右側が新着のメス)

☆身障者用トイレ完成

身体障害者の方が車イスのまま楽に使用できるトイレがこのほど完成しました。昨年11月から中央門横で工事をしていたもので、六角形をしたクリーム色の建物です。



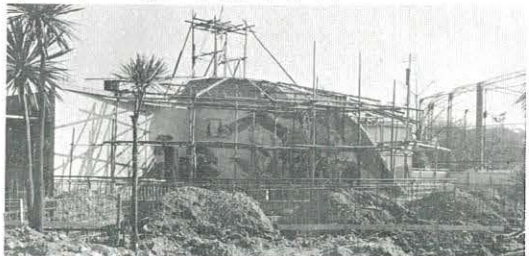
☆アカカンガルーの赤ちゃん育成順調

昨年暮から顔をのぞかせていたアカカンガルーの赤ちゃんは、新年に入って動きも一段と活発になり天気の良い日には袋から出てくるようになりました。これでアカカンガルーは7頭になり、大変にぎやかになりました。



☆工事中のお知らせ

ゴリラ舎及びライオン、トラ放飼場が現在改造工事中のため、一部動物が展示できませんので御了承下さい。(完工予定は3月末)



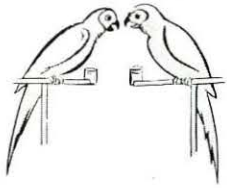
☆飼育動物点数 (昭和52年1月1日現在)

*哺乳類 118種 476点 *鳥類 194種 700点
*は虫類 40種 92点 合計 352種1268点

▷休園日のお知らせ◁

毎月第3月曜日は休園日です。5月までの休園日は下記の通りです。
2月21日、3月22日、4月18日、5月16日。
開園時間は9時半から4時半までで、4時に切符売止めになります。

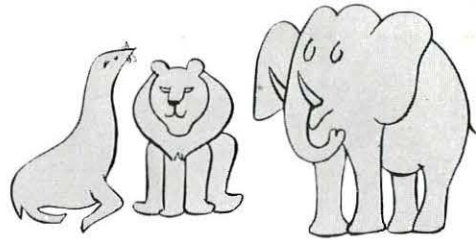
なきごえ 昭和52年2月15日発行(毎月1回15日発行) 第13巻第2号(通巻138号)
 編集/大阪市天王寺動物園 干543 大阪市天王寺区玉水町2
 発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 電話 大阪 (06)771-0201
 印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 振替口座 大阪 37823
 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員 < 小谷 潔・林 邦彦・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三 >
 深井 和美・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・農本 武志